

四国4県からさまざまな市民の方々が世界に向け発進！

この度、平成21年度1次隊として、青年海外協力隊が6月22日から29日にかけて世界各地に出発します。それに際して、下記の通り、県庁や市町村庁を表敬訪問いたします。

特に今回は、近年になく多くの方々が出発予定です。また、それぞれ参加する分野（職種）やこれまでの経験、立場が幅広く、バラエティーに富んでいます。

【四国】 徳島県—2名、香川県—6名、愛媛県—7名、高知県—3名 計18名

現職参加 所属に席を残しながら、帰国後の不安なく、参加して欲しいとの期待から、現職参加を可能とする地方自治体での条例化や民間企業での有給休職・休暇などの制度の導入を呼び掛けて参りましたが、今次は上記18名のうち6名（徳島1名、香川1名、愛媛3名、高知1名）が所属先に身分を残したまま参加しています。（近年参加者のうち全国平均15%強）

- ・ 地方自治体職員（愛媛県庁、市立八幡浜総合病院、さぬき市民病院、中土佐町役場）
- ・ 教員（愛南町立西南中学校）
- ・ 民間企業（日本ビクター株式会社）

上記、地方自治体すべて現職参加は「初」です。※愛媛県、八幡浜市、香川県さぬき市、高知県高岡郡中土佐町

さまざまな分野（職種）

青年海外協力隊の活動分野は、8部門（農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政）約120職種と多岐にわたります。

今回出発隊員の職種のうち、スポーツ関連の技術指導を通じ青少年の育成に向かう方々（柔道、野球、水泳、体育教育など）。自然環境や野生生物の保護が叫ばれる国々での観光開発と環境保全との両立に汗する予定の方（観光業）。地球環境保全に取り組む予定の方（森林経営及び環境教育）。知識偏重の教育が行われがちな開発途上国での情操教育の導入を目指す（幼児教育及び音楽）など、あらゆる分野で世界各国（アジア、中近東、アフリカならびに中南米諸国）に飛び出していけます。

青年海外協力隊員として、これまでとは全く異なる生活環境や業務に対する考え方の中で、自らの経験やアイデアを駆使して、2年間の協力活動をするわけですが、ご自身の人間力や技能向上だけでなく、将来、それぞれ帰国後の日本各地への還元にも期待したいと思います。

表敬訪問に関する主なスケジュール（市庁は、県庁所在地のみ記載）

- ・ 6月15日（月）香川県（14：00～14：20）、高松市（11：30～12：00）
- ・ 6月15日（月）愛媛県（11：30～11：45）、松山市（10：00～10：20）
- ・ 6月17日（水）徳島県（10：00～10：30）、徳島市（13：30～14：00）
- ・ 6月17日（水）高知県（13：00～13：20）、高知市（14：00～14：30）

以上